

## ⑨道の駅「とよはし」

授賞機関 国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所  
豊橋市

**キーワード** 重点「道の駅」、地域防災活動拠点、地域振興施設

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

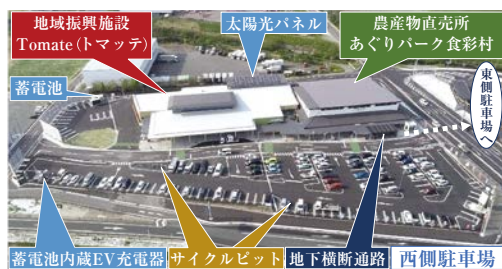
防災備蓄倉庫、非常用電源、太陽光パネルによる地産地消型エネルギーインフラなどの防災機能を確保した道の駅の整備。地域の防災拠点として位置づけられ、地域の防災イベント開催など防災気運を高めた点や、サイクリングピット、電動アシスト自転車の貸し出しなどサイクリストの拠点づくりにも貢献している点が評価された。

### 1. はじめに

豊橋市は愛知県の東南端、渥美半島の付け根に位置し、東は静岡県、南は太平洋、西は三河湾に面している。また、東京・大阪のほぼ中央にあたり、ハイウェイ・ネットワークで4時間圏域に包含され、陸海交通の利便性が高い立地条件にある。

道の駅「とよはし」は、国道23号豊橋東バイパス七根IC北側に位置し、国道を管理する国土交通省との一体型整備手法により整備し、令和元年5月26日に豊橋市初として開駅した。

全体面積：約37,800㎡（西側：約11,500㎡、東側：約26,300㎡）  
駐車場：258台（24時間使用可能）大型車用：82台  
小型車用：170台 身障者用：6台



西ゾーン

### 2. 事業の概要

道の駅の基本機能の他に、重点「道の駅」の提案機能である「防災」「地域福祉」「産業振興」を備えた施設として、西側ゾーンに地域振興施設・駐車場、東側ゾーンに駐車場・情報提供施設・防災備蓄倉庫を整備した。また、西側ゾーンと東側ゾーンを結ぶため、地下横断通路を整備した。南海トラフ地震等に備えるため、道の駅を地域防災活動拠点と位置づけ、太陽電池・蓄電池等地産地消型エネルギーインフラ、非常用発電設備、防災備蓄倉庫、防災トイレなどを整備した。

地域振興施設内（Tomate）の調理機能を備えたプロジェクト室では、地元食材を活用した料理教室や、農家

や地元企業が連携しオリジナル農産加工商品の開発を目指した、6次産業化支援セミナーなどを開催している。

また、太平洋岸自転車道の取り組みとして、豊橋市・田原市・湖西市の3市の道の駅を結ぶ観光サイクリングマップを作成し観光案内するとともに、E-BIKE（スポーツ仕様の電動アシスト自転車）の貸出や、サイクルピット（駐輪ラック・空気入れ等の整備器具）も完備した。

地域振興施設の設計にあたっては、ガラス張りとした吹き抜け上部にかけた一枚屋根は、屋内の天井面から屋外の軒裏まで木質化を連続させた大屋根として、外観上のシンボルとし、夜間には、屋内照明の明かりが木質化した天井面に反射し、まちを柔らかく照らす「行燈」の様な印象的な外観を演出できるようにした。



東ゾーン

### 3. 事業の成果

累計来場者数は、メディアを活用した広報戦略の奏功などにより、令和2年5月末のオープン1周年には、約200万人となった。道の駅は、ドライバーの疲労回復、渋滞回避、定時制確保のための輸送時間調整などに利用されており、ドライバーの負担が軽減されている。

また、道の駅の利用者は豊橋市内のみならず、休日には遠方からの利用者も多く見られ、道の駅の目的である「休憩」「情報提供」に加え、「食事」「買い物」など多様なニーズに応えられる魅力ある施設となり賑わいの場も創出している。

### 4. おわりに

今後も道の駅「とよはし」は、食農の拠点として、地域の方々と連携し、農業体験ツアーや各種イベントの開催など、ここにしかない感動体験を提供できるよう、また災害時に機能を確実に発現できるよう、様々な取り組みを行っていきたい。

賛助会員 大日本コンサルタント(株)、(株)エイト日本技術開発  
写真提供 豊橋市ドローン飛行隊「RED GOBLINS」